

## DNA と RNA の違い

DNA ウイルスと RNA ウイルス

https://l-hospitalier.github.io

2020.4 DNA

塩基 RNA

ÓH

PO<sub>4</sub>3-

【DNA と RNA】はほとんど同じ構造を持ち似た者同士の印象があるが、実 は両者は本質的に異なる機能を持つ。 核酸(nucleic acid) は ①塩基、5 炭 糖の単糖でフラノース環構造(#222参照、炭素4と酸素1で5角形、5個目

の 5'炭素はリン酸と結合:右図)の ②リボース ( $C_5H_{10}O_5$ :天然には D 型のみ)

と **③リン酸**の結合物で **5**'が上流、**3**'が下流。 時計回りに **1**'炭素には **A,G,C,T,U** の塩 基が結合し5'と3'は中間にリン酸(PO<sub>4</sub>)を介してリン酸エステル結合で長鎖を作る。 **2'**に**水酸基**を持つのが RNA(リボ核酸)で**水素**が DNA(デオキシリボ核酸)。 この違 いで RNA と DNA は糖の立体配座が異なる。 DNA はリボースが C2'エンド形構造を取 ることが多いが RNA では 2'の OH 基で立体障害が生じリボースが C3'エン

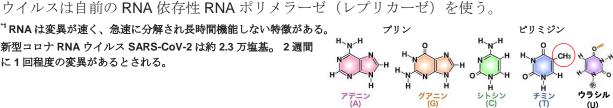
ド型となる。このため DNA は B型らせん構造 (右巻き、10 塩基/回転) を取りやすく RNA は A 型らせん構造(右巻き、11 塩基/回転)を取 りやすい。 RNA 螺旋は主溝(幅の広い方の窪み)が深く狭く、副溝が 浅く広い。【特徴と機能の違い】DNA は主に核の中で情報の蓄積・保 <mark>存</mark>を担うため2本鎖で情報に冗長性があり、破損時の修復酵素も持つ。 RNA は 1 本鎖が多く情報の一時的な処理と伝達を担い、DNA よりも合 成・分解されやすい。 RNA は長期に活性を持続しないように不安定で 分解されやすい特性(自己タイマー性)を持つ。 これは主に RNA の

2'位 OH 基が柔軟な構造で反応性もあるため DNA と比べて不安定なこ とに由来する。OH基の酸素には孤立電子対が2つあるため負に荷電、 近接リン酸のP(右図青丸)は周囲を電気陰性度の高いO原子に囲ま

れ 2'の OH 基の O 原子から**求核攻撃** (結合している原子を追い出して新 しい原子に置き換わる反応)を受けやすい。 この攻撃でホスホジエステ ル結合が切れリン酸とリボースの骨格が開裂しやすく DNA と比べて不安定。 これらの結果役割を終えた mRNA が直ちに分解されることが可能(バクテリ アでは数分、動物細胞でも数時間後には分解)。 安定な RNA では 1 本鎖であ

りながら水素結合を形成してらせん構造をとるなど多様な2次構造、3次構造を持ち安 定性を増している。<mark>【塩基の違い】</mark>糖に結合する塩基にも差異があり、DNA は**プリン** の  $A(P \tilde{r} = \lambda)$ 、 $G(\tilde{r} = \lambda)$ とピリミジンの  $C(\tilde{r} = \lambda)$ 、 $T(\tilde{r} = \lambda)$ だが、RNAは T がピリミジンの U(ウラシル)となる。 但し DNA でも稀に塩基に T ではなく U の DNA(U-DNA)を持つ生物も存在する。 しかし圧倒的多数の生物で DNA の構成塩 基が U ではなく T であるのは、同じピリミジン塩基である C は自然の状態でも脱アミ ノ化するとUになる。 そのためU-DNAは頻繁に塩基配列が変化、それを防ぐために 損傷してUに変化したCと元々Uであるものを識別する必要がある。TはUの2'にメ チル基がついた構造(下図赤丸)。 メチル基は水素結合に関係するが他の原子には殆 ど反応しない。 また T は U と比較して C からは容易に生じず C の損傷によって生じ た U を容易に検出できる。 これらから DNA は U ではなく T を用いるが、**ウラシル**は チミンよりエネルギー的に有利なので RNA ではウラシルが使われる。 【ウイルス】 DNA ウイルスはゲノムとして DNA を持ち宿主の核内で増殖。 RNA ウイルスは RNA ゲノム で宿主の細胞質で増殖する。 1 本鎖と 2 本鎖があり 1 本鎖には(+)鎖(センス鎖) のも のと(一)鎖(アンチセンス鎖)のものがある。(一)鎖は遺伝情報を伝達できないので感 染性を持たず、通常はウイルス内に自前の RNA 依存性 RNA ポリメラーゼ(レプリカ ─ゼ)を持ち(+)鎖に転写してから増殖。 RNA ウイルスによっては mRNA の機能をも つ RNA を作るものがあり、これをサブゲノム RNA と呼ぶ。 サブゲノム RNA が多い のは進化の結果。 DNA ウイルスは子孫ゲノムの複製に宿主の核内酵素を利用、RNA

<sup>1</sup>RNA は変異が速く、急速に分解され長時間機能しない特徴がある。 新型コロナ RNA ウイルス SARS-CoV-2 は約 2.3 万塩基。 2 週間 に1回程度の変異があるとされる。



#237